



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1983. 7. 15

2

To Club Presidents and Secretaries of DISTRICT 260

**Share Rotary—
Serve People**

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を



「クラブの会員は、誰でも彼が100%出席会員であることを知っている。彼は27年間1回も例会を休んだことがない。しかし、大部分の会員が知らなかったことは、ジミー・ブラウンを眼医者にやって重い眼病を癒してやることを提唱し、その費用の大部分を負担したのが彼であったこと。山上の一家族が追立てをくって困っているのを助けて、再び独立の生計が立つようにしてやったこと。子供たちの軟式野球チームが球場を失って当惑しているときに宅地を見つけてやったこと。冬がきてジョーンズ未亡人とその女兒が不幸のどん底に陥ったとき、同志を求めてその不幸な人々に全く新しい信仰の世界を開いてやったこと、などである。この会員のことはまだいくらか書ける。だが、彼は常に行列の先頭に立つことはなく、いつもどこか横の方に隠れている。そして楽隊が賑やかに囃し立てている頃、ひっそりと横町のどこかで誰かを助けている。しかも、クラブの記録には、彼は単に27年間100%出席会員であったとだけしか記していない。」古い文献にあった文章だが今はない。しかし、私の好きな文章である。

ガバナー 奥澤俊一

事務所 〒390 松本市中央1-9-18(松本商工会館内) TEL (0263) 36-6588

ガバナー 奥澤俊一

1983年 国際ロータリー第260地区 地区協議会

国際ロータリー第260地区協議会が、6月19日に、あまR.C.のホストにより、鶴舞公園の緑に囲まれた、都心とは思えぬ静かな名古屋市公会堂において、大隈ガバナーをはじめとする40名の特別出席者を含め、総計845名の登録を得て開催された。梅雨のさなかにもかかわらず、蒸し暑いほどの好天に恵まれ、また、ホストクラブの細やかな気配りに支えられて、スムーズに進められた勉強会であった。

大隈ガバナーからは、次の年度のスタートに当る地区協議会であり、何か一つでも得るものをもって帰ってほしい、「公開体力テストの一年間」を終るに当って、各クラブの協力に感謝する旨の挨拶があり、ガバナーとしての最後の重要公式行事を終えられ、肩の荷をおろしたといった姿が印象的であった。続いて、奥三河R.C.と犬山R.C.に「意義ある業績賞」が与えられた。

奥沢ガバナーエレクトからは、国際協議会及びトロント国際大会への出席の模様、ウィリアムE.スケルトン新R.I.会長の印象、特に新会長方針の従来と大きく異なる点、即ち、年度テーマをなるべく早く全クラブに伝え、来るべき新年度には遅滞なく行動を起せるように、との意図の説明があり、年度テーマのShare Rotaryに基く、会員増強、新クラブ設立に関する基本的な考え方について、並びにServe Peopleの

意味について、各クラブは古いしきたりを捨て、新しいプロジェクトをもってほしい、世の中の変革につれて、ニーズも変化している、各クラブはそれに対応して動くことが大切、との要旨の所感が述べられ、午前の部を終了し、分科会に移った。

分科会後の本会議において、奥沢ガバナーエレクトは——年度テーマである増強については今日の不況下、種々の困難さはあるものの、充填・未充填の職業分類を改めて見直せば、まだかなりの余地があり、量か質かではなく、量と質とは両立するものであること。昨今の一年は昔の十年に相当するくらい変化がはげしく、新しい職業分類がかなり生れている筈であること。新会長のメッセージを善意をもって前向きに受け取ってほしいこと。来年度をACTの年にするべく、1961～1962年度J.A. エービーR.I. 会長ターゲットである、

Aim for Action

行動に努めよ。

Communicate for Understanding

理解に途を求めよ。

Test for Leadership

指導力を高めよ。

を引用し、全クラブの協力を呼びかけた。

来年度地区協議会の開催地として

6月17日 豊川市 ホスト豊川R.C.

が発表され、大隈ガバナーの点鐘により、所定の全プログラムを終了した。

第1分科会 会長部会

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| ●リーダー | 〈ガバナー〉 | 大隈孝一(名古屋) |
| ●アシスタントリーダー | 〈ガバナーエレクト〉 | 奥澤俊一(松本南) |
| ●アシスタントリーダー | 〈南信第一分区代理〉 | 山岸紫朗(松本) |
| ●アシスタントリーダー | 〈次期尾張第一分区代理〉 | 田中徹(半田) |
| ●アドバイザー | 〈パストガバナー〉 | 佐藤知雄(名古屋東) |



大隈リーダー、奥沢アシスタントリーダーの司会の下に会長部会が行われた。大隈ガバナーは、奥沢エレクトを出来るだけ立てる様に、もうエレクトの四字を除いて、「奥沢ガバナー」と呼んで下さいとの簡単な挨拶の後、各分科会場を視察すべく席を立たれた。奥沢ガバナーは、早速佐藤知雄アドバイザーに発言を求められた。

佐藤アドバイザーは、——各家に家風がある如く、ロータリーにもロータリー風があり、そのロータリー風は創立時の特別代表や初代会長に

よって創られ、やがて歴代会長の熱意と努力によって、夫々のクラブのロータリー風が醸成されてくるのである。クラブの発展も衰退も、一に掛けて、会長の熱意と努力の如何による。会長の指導性によって、ロータリー風は良くも、又悪くもなっていくのである。stand-still（立ち止まっている）は、即ち衰退に通じ、常に前進を心掛ける事が肝要である。会長はstand-still

であってはならず、積極的に指導力を発揮して良いクラブ風を創って行くよう努力すべきである——

続いて、会員増強の問題が提言され、量か質かについて、大隈、奥沢両リーダーより、量が拡大しても質は決して落ちるものではない、との適切な助言があった。なごやかな内に勉強するところ大なるものがあった。

第2分科会 幹事部会

●リーダー	〈地区幹事〉	伊藤 光（名古屋）
●アシスタントリーダー	〈三河第一分区代理〉	宮地 信尚（豊川）
●アシスタントリーダー	〈次期東北信分区代理〉	塚田 和男（長野東）
●アドバイザー	〈次期地区幹事〉	花岡 和雄（松本南）
●アドバイザー	〈地区会計長〉	服部 英一（名古屋）
●アドバイザー	〈次期地区会計長〉	小岩井 茂門（松本南）
●パネラー	〈次期ロータリーの友委員会委員長〉	神谷 昭司（高浜）

伊藤光リーダーの司会により、過日地区内88 R.C.に出したアンケートの質問事項に答える形で部会が進められた。(1)ホームクラブ30%出席義務。次期花岡地区幹事答弁：半期の例会数を分母としてホームクラブ出席日数との割合が少くとも30%要するが、もし満せぬ場合、本人が正当な理由を附して書面を以て幹事宛提出、理事会の承認を得ればよい。(2)会長エレクトについての規定：十分な理解をしておらず、会長エレクトをおいていないクラブが多い。創立以来おいている（木曽、蒲郡R.C.等）、又は本年度から実施する（飯田R.C.他）クラブもあるが、副会長から会長になるのが大半である。別に会長エレクトをおいて会長見習いをしてほしい。なお、会長エレクトを一年早く決める事。会員数の少ないクラブは欠員としておく手も考えられ



る。(3)例会所定時間の60%以上在席を出席とする規定：幹事が出席認定者として良識を以て運用する様に。(4)会員増強について：減る方が多い現状下、質を大事にしながら増強を最重点にしてほしい。

第3分科会 クラブ奉仕・会員増強部会

●リーダー	〈パストガバナー〉	北野 幾造（長野）
●アシスタントリーダー	〈尾張第一分区代理〉	相羽 鋌一（名古屋和合）
●アシスタントリーダー	〈次期三河第二分区代理〉	山中 寛三（碧南）
●アシスタントリーダー	〈次期南信第一分区代理〉	有賀 安一（富士見）
●アドバイザー	〈パストガバナー〉	安野 譲次（一宮）
●アドバイザー	〈パストガバナー〉	原 享二（飯田）
●パネラー	〈次期クラブ奉仕研究小委員会委員長〉	福田 源一（江南）

北野リーダーより、新R.I.会長の年度テーマについて解説があり、新会長は会員増強にたいへん意欲を燃やしておられることを述べられた。続いて、福田パネラーより、増強キットについ

て概略の説明が行われ、更に北野リーダーから噛みくだいた念入りの解説が加えられ、新会長の確たる方針と地区の取り組み姿勢が出席者に強く印象づけられた。

増強に関しては、総論賛成・各論一部反対、建前と本音のギャップ、会長賞プログラムの具体的指示及び表彰方法のアメリカ式割り切り方が日本人の感覚にはそのまま素直に受け入れられない、などの空気がある程度場内に流れ、多少批判めいた意見も出されたが、ロータリーの基本である奉仕の実践は、会員増強に繋がるということで各クラブとも賛意を表した。

種々の質疑応答のなかで、増強キットは慎重に扱ってほしい旨の要望がなされた。

安野アドバイザーからは、職業分類はロータリーの金看板でもあり、従来の職業分類をリフレッシュする意味でも、現在の多様化した社会にマッチするように拾い上げに工夫をし、新しい分類表を8月末までに整備されたい、と強く要請された。

他のアドバイザー及びアシスタントリーダー



からも発言があり、量か質かの問題では、質を優先させるべきであると結論づけられた。

増強にはじまり、増強に終わった90分間であったが、増強の成否は、クラブ会長、理事役員、委員長及び全会員の意志如何によるというのが結論であった。

第4分科会 職業奉仕部会

- | | | |
|-------------|-------------------|---------------|
| ●リーダー | 〈パストガバナー〉 | 加藤 直一郎 (岡崎 南) |
| ●アシスタントリーダー | 〈南信第二分区代理〉 | 久保田 元次 (箕輪) |
| ●アシスタントリーダー | 〈次期西尾張分区代理〉 | 宮川 正春 (西春日井) |
| ●アドバイザー | 〈パストガバナー〉 | 近藤友右衛門 (名古屋) |
| ●パネラー | 〈次期職業奉仕研究小委員会委員長〉 | 水野 民也 (名古屋千種) |

加藤リーダーの司会で開会された職業奉仕部会は、職業奉仕の根本的問題についての出席者の発言に引き続き、リーダー方の指導を頂き、職業奉仕に取り組むべき姿勢としては――

ポールハリスの時代と現代とは、総てがあまりにも違いすぎており、また複雑化してしまった。このような中で、われわれが職業奉仕とい

うテーマにどのように取り組んでいったらよいのか。それは、自分自身の心の持ち方、しかも良心に恥じない正しい道徳的な心の持ち方、思いやりしかないと思われる。また、あまりにロータリーの綱領のみにとらわれることなく、少しく融通性を持って、明るい世の中をつくってよくようにあるのが望ましい。ロータリーを堅苦しく、難しく考えすぎない方が、却って奉仕活動を楽しめるものにすることが出来るのではなからうか。

職業奉仕の理念と実際とを結びつけることは非常にむずかしいものではあるが、10月の職業奉仕月間には職業奉仕について心底に持つべきものを忘れぬよう、精神的な引き締めを行うよう、クラブ員に強調し努力するのが委員長の役目であり、またそれが責務であると強く感銘を与えられた。



第5分科会 社会奉仕部会

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| ●リーダー | 〈パストガバナー〉 | 藤原 正男 (諏 諏) |
| ●アシスタントリーダー | 〈東北信分区代理〉 | 矢島 謹一 (上田 東) |
| ●アシスタントリーダー | 〈次期東尾張分区代理〉 | 加藤 政良 (瀬戸) |

藤原リーダーは冒頭に次のように述べられた。
——次年度の社会奉仕の目標としては、各クラブとも、それぞれ違った個性をもっているので、持っているそのすぐれた個性を引き出して発展させて頂きたい。スケルトン R.I. 会長は、今迄の方針のうち、見直すべきものは見直して年度の新しい目的・目標を設定し、それにクラブ役員及び会員の協力を得るよう呼びかけている。この目標を項目別に分けてみると、

①環境保全即ち大気、水質の汚染防止と、交通、防犯、防火等の安全の問題。

②障害者、高齢者等に新たにプロジェクトを始めること。

③文化の振興につとめること。

④奉仕が会員みずからの奉仕か、クラブを通じての奉仕か、又物の奉仕か、心の通いあう奉仕か、これらについてお互に話合う必要がある。

内山パネラーは社会奉仕の基本方針として、

①地域の中で本当に必要な奉仕は何かを考える。

②今迄の方針のみにこだわるマンネリの打破。

③奉仕のかたちを物質から精神的な面への移行。

④地域浄化の観点から、5.30運動への協力、促進。

⑤奉仕はあくまで、ロータリーの綱領の範囲内で。

⑥事業はなるべく単年度で終る様心掛けること。



⑦行った事業の成果の確認と結果に責任をもつ。

⑧基本的には、事業はクラブ集団で行うよりも個人で行うことの方がよりロータリーである。

その後各クラブの業績の発表の中で特に注目されたものとしては、

①点字の電話帖の作成と配布。(戸倉上山田R.C.)

②ホームヘルパーへの自転車の寄贈。(豊橋南R.C.)

③障害者の機能回復教室の開催と図書を購入。(尾張旭R.C.)

④精薄者に絵画を教えた。(豊田東R.C.)

⑤会員の中から登録したテーマをテリトリーの中で無料講演のインテリジェンス・サービス。(和合R.C.)

第 6 分科会 青少年奉仕部会

● リーダー

〈バストガバナー〉

川 瀬 保 (名古屋南)

● アシスタントリーダー

〈三河第二分区代理〉

平 岩 信 三 (安 城)

● パネラー

〈次期青少年奉仕委員会副委員長〉

山 内 彊 (豊 橋 北)

● パネラー

〈次期青少年奉仕委員会副委員長〉

中 里 三七雄 (軽 井 沢)

● パネラー

〈青少年活動小委員会委員〉

水 野 茂 樹 (刈 谷)

最初に、川瀬リーダーより、青少年奉仕への取り組み方について二、三の指針が述べられた。それによると、最近世界各国の共通の悩みであり、大きな社会問題として採り上げられた事柄

として、それぞれの国の将来を予測するには、その国の青少年の動向を見極めるのが最も確だ、とのことがある。特に、先進諸国で見られる民族の無気力さ、すぼらな意識が、その国の衰退を招いており、戦前において世界一といわれた勤勉なドイツ国でさえも、現在ではその様相を全く一変してしまった。同様に、わが国においても、類似した傾向が強くなりつつあることは、誠に遺憾である。

そこで、われわれロータリアンは、この間口が広くて奥行き深い問題を避けて通るわけにはまいらない。さしづめ、手近かなところ、具体的にはインターアクトクラブ、ローターアクトクラブの提唱、ボーイスカウトの育成など、積極的に推進することが、当面の課題である。



続いて、数クラブより、これらの問題点について提言がなされ、最後に、飯田南R.C.より、最近の青少年非行防止広報資料として「正しいしつけをする親の反省35訓」との小冊子が披露

され、これを学校当局、PTA、防犯協会、警察などの関係機関に配布し、青少年健全育成に尽力している事例発表がなされた。

第7分科会 国際奉仕・ロータリー財団・米山奨学会部会

●リーダー	〈パストガバナー〉	森 泰 樹 (豊 橋)
●アシスタントリーダー	〈尾張第二分区代理〉	福 田 浩 三 (名古屋空港)
●アシスタントリーダー	〈次期三河第一分区代理〉	伊 藤 務 (渥 美)
●アシスタントリーダー	〈次期青少年交換小委員会委員長〉	加 藤 一 三 (名古屋北)
●アドバイザー	〈パストガバナー〉	鮎 谷 賢太郎 (名古屋)
●パネラー	〈次期国際奉仕委員会副委員長〉	下 郷 弥太郎 (名古屋東南)
●パネラー	〈ロータリー財団委員会副委員長〉	酒 井 博 (駒ヶ根)
●パネラー	〈ロータリー財団委員会副委員長〉	浅 野 甚 七 (名古屋)
●パネラー	〈次期米山奨学委員会副委員長〉	河 合 利 周 (名古屋北)

森リーダーより、国際奉仕はどのクラブでもやりにくい部門であるが、要は工夫が大切である。国際奉仕は、ロータリーの目玉であり、個人、クラブ、地区の各レベルで、小さな出発点でもよいから、国際交流の場をいかに増加させるかに努力してほしい、と呼びかけがあり、次いで、各アシスタントリーダーより、地区レベルでの活動について報告がなされた。

青少年交換を通じてできる生きた国際奉仕の実践にぜひ参加をしてほしい。昨年発足した地区内7分区の国際奉仕委員長会議は、大きな成果をあげたが、本年も益々これを進め、地区レベルの会合にもってゆきたい。国際交流の現状一覧表をみると、地区内88クラブのうち、33クラブが交流を行っている。行っていないクラブもぜひ積極的にお願いしたい。

また、鮎谷アドバイザーからは、近年、財団寄与率の低下から、奨学生の割当て数も著しく減少している。奨学生制度は、財団の最も意義ある活動であり、絶大なご協力をお願いする、と強調された。

パネラー方より、今年の新奨学生選考に当たっては、40名近い申請者から5名を厳選して欧米に派遣。受け入れ学生は米国より3名、英国よりは2名。

本年（昨ロータリー年度）の地区としてのロ



ータリー財団寄付状況は、4月30日現在で、
 総額 \$149,350
 会員一人当たり平均額 \$26.3

寄付額平均が、\$50以上が12クラブある一方、1ドルも寄付していないのが9クラブあり、ほとんど長野地区のクラブである。全国一の会員数を有する当地区では、せめて5名の奨学生を確保してゆきたいので、会員1名当たりの平均額を\$50の線まで上げたい。

最後に森リーダーは、国際奉仕は必要ならば、二年委員会、三年委員会をつくってフォローアップし、しり切れトンボにならないようにやってほしい、と結ばれた。

（ホストのあまクラブのご協力を頂きました）

8月公式訪問日程

1日(月) 豊 橋 南	9日(火) 白 馬	19日(金) 一 宮 北	25日(木) 名古屋西
2日(火) 豊 橋 北	10日(水) 茅 野	20日(土) 蒲 郡	26日(金) 岡 崎 南
3日(水) 名古屋北	11日(木) 富 士 見	22日(月) 尾 西	29日(月) 豊 田 西
4日(木) 丸 子	18日(木) 伊 那	23日(火) 木 曾	30日(火) 犬 山

1985～86年度ガバナー・ノミニー 候補者推薦の手続きについて

地区内各クラブは、1985～1986年度のガバナー・ノミニー候補者として地区指名委員会の考慮に入れてほしい人があれば、地区指名委員会委員長（大隈直前ガバナー）へ提案して下さい。その際は、所定用紙をガバナー事務所に請求し、それを使用願います。

なお、地区ガバナーの資格条件については、R.I. 細則第13条5節(b)の(1)～(7)の条件をみたすものであることを要します。(81年度版手続要覧283p 参照)

また、地区指名委員会が、地区ガバナー・ノミニー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は、地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご了承下さい。(R.I. 細則第13条5節(f)，81年度版手続要覧285～286p 参照)

第1回ガバナー連絡会議の報告

7月1日、東京プリンスホテルで開催、議長に清家清君(東京目黒)、副議長に世戸一夫君(大阪難波)・上田正夫君(東京武蔵野)、連絡委員会委員長に木本茂三郎君(東京北)、其他顧問等を決定、引続き審議に入り、

①全国インターアクト地区委員長全国会議(83年5月24日)からの要請として、a)インターアクト地区大会の主催者を地区ガバナーとする。b)インターアクトの略語について、クラブをI A C、委員会をI A 委員会とすることを了承。

②85年科学万博について、大阪万博と同様、ロータリー組織委員会(委員長松平一郎君元R.I. 理事)の設置、ロータリー室の運営費として、83～84年度の下半期人頭分担金500円、84～85年度上半期人頭分担金500円、会計、会員1人当たり1000円の徴収が了承された。(各クラブでは新年度予算は既に確定していることと思いますので、下半期において会員1人当たり500円を予備費等より支出されるようご配慮願います)(奥澤記)

会長・幹事のみなさまへお願い

年度発足に先だって、次年度会長・幹事会の席上でご依頼申し上げた諸報告・諸連絡事項に関して、所定期日内にガバナー事務所に到着しないケースが少なくありません。集計表作成に係る報告事項の場合は、たった一つの記入欄の空白で、月信の所定日発行が不可能となる事態に追い込まれますので、重複にはなりますが、特にご留意頂きたい項目等を挙げ、ご協力をお願い申し上げる次第であります。

毎月の出席報告は8日までに

クラブ月次出席報告は、翌月第1例会終了後直ちに、所定記入欄に記入洩れのないことをご確認の上、おそくとも8日までにガバナー事務所に必着するようお送り願います。なお、6月分の報告送り先は、大隈直前ガバナー事務所です。念のため。

変更・移動などの報告について

会員の入会・退会、及び住所、職業分類、会員資格の種類の変更は、必ずそのつど、所定用紙により、R.I. 中央事務局と当ガバナー事務所へご報告下さい。

職業分類表の作成について

各ロータリークラブは、その職業分類委員会によって、8月31日までのなるべくロータリー年度の早い時期に、その地域社会の職業分類調査を行うように勧告されています。特に、会員増強を主要な課題として採り上げられた本年度においては、充填及び未充填の今日的な見直しの重要性が指摘されており、お早めに作業にとりかかれますようご配慮下さい。

名誉会員の推薦について

名誉会員は、毎年6月30日にその資格を終結します。貴クラブに名誉会員がおられる場合には、新年度の理事会の決議を必要としますのでご留意下さい。(国際ロータリー細則3条7節及びクラブ定款第8条第2節(d)参照)

9月はロータリーが青少年に焦点を合せる青年活動月間となっています。

- ロータリーの活動を通じ、青少年と連携しましょう。
- 特別行事や褒賞をもち、青少年を表彰しましょう。
- 青少年のニーズを調査し、新しいプロジェクトに着手しましょう。
- 月間活動を通じ、青少年に対する他の奉仕についてのニュースを広めましょう。

続会長・幹事の みなさまへお願い

在日財務代行者変更について

すでに、ご承知のこととは存じますが、R.I. 在日財務代行者は、7月1日より杉谷武雄氏から佐々木秀一氏に変更就任されましたが、銀行、口座番号は従来と不変で、下記の通りです。

振込銀行 三井銀行本店 三菱銀行本店
口座種類 普通預金 普通預金
口座番号 0968049 1528228
口座名義 国際ロータリー在日財務代行者
佐々木 秀一

ロータリー・ベーシック・ ライブラリーの活用を！

Rotary Basic Libraryは、ロータリーの全容を使いやすい簡潔な形にまとめたものです。全7巻よりなり、ロータリーの各奉仕部門別に各1巻とロータリー財団、青少年活動の巻で構成されており、あらゆるロータリアンのニーズに応えられる知識の宝庫です。各クラブでは、新クラブ役員、新入会員、R情報委員がご利用されるようお願いいたします。

ロータリーの友英語版のご利用を

「友」では国際奉仕の一助として、海外のロータリアンに日本および日本のロータリーの正しい姿を認識していただくため、9年前よりロータリーの友英語版を刊行しております。

各クラブでは、シスタークラブあるいは組み合わせ地区の相手クラブ、青少年交換計画等にご利用されるようお願いいたします。

地区大会のごあんない

ロータリアン並びにご家族の皆様は、本年度地区大会に大勢参加されますよう、お誘い申し上げます。9月24日(土)から26日(月)にかけて、松本市で開催される地区大会は、松本平地区の4クラブが共同して、その準備を進めております。記念講演は、「経済のソフト化・サービス化」の演題で、名古屋大学、飯田経夫教授にお願い致しました。ご期待下さい。全員参加の本会議は、25日に予定し、その他、友愛の広場、特産品コーナーなどを充実させ、楽しくまた心温まる大会となるよう努めていますので多数のご参加を待ち申し上げます。

地区ニュース

今年度の第1回指名委員会が、7月9日(土)午前10時より、名鉄グランドホテルで開催され、引続き11時半より第1回地区諮問委員会が同ホテルで開かれました。

第1回指名委員会議題

- (1) 1984～1985年度ガバナー・ノミネー候補選出の件
- (2) 1985～1986年度ガバナー・ノミネー候補選出の件

第1回地区諮問委員会議題

- (1) 1982～1983年度地区資金会計及び特別会計決算報告承認の件
- (2) ガバナー、パスト・ガバナー懇談会並びにガバナー連絡会議(7月1日)報告
- (3) 1983～1984年度地区大会の件
- (4) 地区行事予定の件
- (5) 1984～1985年度地区協議会、年次大会候補地の件
- (6) 1984～1985年度ガバナー・ノミネー候補選出の件
- (7) 地区拡大、増強の件
- (8) 1983～1984年度「意義ある業績賞」選考委員選定の件
- (9) オン・ツー・バーミンガム委員会設置の件
- (10) その他

お知らせ

◎瀬戸北R.C.の副会長が、加藤積君から高木鉦一郎君に変更になりました。

◎下記のクラブのビジター・フィーが7月の第一例会より変更されました。

クラブ名	旧	新
半 田	1,800円→	2,000円
豊 橋 北	2,200円→	2,300円
名古屋東南	2,700円→	2,800円
西 春日 井	1,800円→	2,000円
あ ま	1,700円→	1,800円
尾 西	1,800円→	2,000円

暑中お見舞申し上げます

ガバナー事務所一同